

## 〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご覧につき、ご高配をお願いいたします。

回  
覧

--	--	--	--	--

教授法・FD シリーズ 18(通算 462 回)  
授業改善と教員評価のエビデンス—

2010年6月11日(金)

6/11 開催中止・延期

# ティーチング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ

教授法・FD シリーズ 19(通算 465 回)  
学生力の喚起と新・成績評価への進化—

2010年7月9日(金)

7/9 開催

# ラーニング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ

教授法・FD シリーズ 18(通算 462 回)  
授業改善と教員評価のエビデンス—

2010年6月11日(金)

# ティーチング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ

～授業実践記録による教員の授業「省察」/教員評価の有効なツール～

- ※ ティーチング・ポートフォリオの役割と構成/教員評価への活用～海外の事例から
- ※ [愛媛大] 教員評価との接続は/学内ワークショップ事例/メンターの重要性と育成
- ※ [ワークショップ] 参画者各位の実践/プロセス、プロダクト、エビデンスを書き込む
- ※ 組織的導入への課題/参加大学の現状を踏まえて/アカデミック・ポートフォリオへの展開シナリオ

### ● 講師陣 ●

土持ゲーリー法一 氏 / 帝京大学 総合教育センター 教授

秦 敬治 氏 / 愛媛大学 准教授、教育・学生支援機構 教育企画室 副室長

2010年6月11日(金) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)

教授法・FD シリーズ 19(通算 465 回)  
学生力の喚起と新・成績評価への進化—

2010年7月9日(金)

# ラーニング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ

～能動的学習/可視化されるアウトカム/ティーチング・ポートフォリオとの接続～

- ※ 3つの要素/成績評価への利用/「学士力」を育てる授業実践の展開
- ※ [国際基督教大]「ICUフォリオ」の導入・実践/主体的学修/システムの運用
- ※ [ワークショップ] 学生視点での実践/プロセスの振り返りと学びの深化
- ※ 授業改善&成績評価の視点から/参加大学の現状を踏まえて/組織的導入への提言

### ● 講師陣 ●

土持ゲーリー法一 氏 / 帝京大学 総合教育センター 教授

日比谷 潤子 氏 / 国際基督教大学 学務副学長、教養学部教授

2010年7月9日(金) 剛堂会館 会議室 (東京・麹町)

[ 参加要領 ]

日時 : 教授法・FD シリーズ 18 **ティーチング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ**

2010年 6月 11日 (金) 10:00~16:50

教授法・FD シリーズ 19 **ラーニング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ**

2010年 7月 9日 (金) 10:00~16:50

会場 : 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です

東京都千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分、JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口から徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声 CD 送付)
教授法・FD シリーズ 18 <b>ティーチング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ</b>	41,000 円 (消費税込)	42,000 円(送料、消費税込)
教授法・FD シリーズ 19 <b>ラーニング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ</b>	42,000 円 (消費税込)	43,000 円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しはしませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または E-mail にてご送付ください。

受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替: 00110-8-81660

すべての口座名 (株)地域科学研究会

(なお、ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

お申込み・お問合せ



地域科学研究会  
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106

TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

教授法・FD シリーズ 18 <b>ティーチング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ</b>	2010年 月 日	<input type="checkbox"/> 当日参加	<input type="checkbox"/> メディア参加
教授法・FD シリーズ 19 <b>ラーニング・ポートフォリオの活用と導入方策Ⅱ</b>		<input type="checkbox"/> 当日参加	<input type="checkbox"/> メディア参加
(□に✓印を入れてください)			
勤務先 _____			
所在地 〒 _____			
TEL _____	FAX _____	連絡部課・担当者 _____	
参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス	

(通信欄) 支払方法(郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書(要 不要)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 11:50	<p>□ ティーチング・ポートフォリオの役割とメンターリングの効果 帝京大学 土持ゲーリー法一</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ティーチング・ポートフォリオの役割               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中教審答申の意義</li> <li>(2) ティーチング・ポートフォリオの二つの目的（授業改善と教員評価）</li> <li>(3) 授業哲学の構築</li> </ol> </li> <li>2. ティーチング・ポートフォリオの構成               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) プロセス（省察など記述部分）</li> <li>(2) プロダクト（業績・成果のリスト部分）</li> <li>(3) エビデンス（証拠資料の付録部分）</li> </ol> </li> <li>3. ポートフォリオを教員評価に活用している海外の事例               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) カナダ ～ ティーチング・ドシエー</li> <li>(2) アメリカ ～ ティーチング・ポートフォリオ</li> <li>(3) オーストラリア ～ アカデミック・ポートフォリオ</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
12:00 ～ 13:00	<p>□ [愛媛大学] ティーチング・ポートフォリオ導入への取り組みと実際 ～教育評価／ワークショップの事例／メンターの重要性と育成～ 愛媛大学 秦 敬治</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育評価の必要性とティーチング・ポートフォリオ               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 愛媛大学の教員業績評価</li> <li>(2) 教育評価の苦悩</li> <li>(3) ティーチング・ポートフォリオの活用方法</li> </ol> </li> <li>2. ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップの事例               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) スーパーバイザーの活用</li> <li>(2) 学内の先導的役割</li> <li>(3) 「無理なく、強制なく」</li> </ol> </li> <li>3. メンターの重要性と育成               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) メンターの重要性</li> <li>(2) メンターのタイプ</li> <li>(3) メンターの育成</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 ～ 16:00	<p>□ &lt;ワークショップ&gt;ティーチング・ポートフォリオ作成の実践 帝京大学 土持ゲーリー法一</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 作成プロセスとポイント ～ 授業哲学の書き方</li> <li>2. ティーチング・ポートフォリオ作成におけるメンターリングの効果</li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:10 ～ 16:50	<p>□ ティーチング&amp;アカデミック・ポートフォリオの導入シナリオ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 参加大学の現状を踏まえて</li> <li>2. 導入にむけての提言               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アカデミック・ポートフォリオへの展開</li> <li>(2) 組織的導入を成功させるために</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

時間	講 義 項 目
10:00 ～ 11:50	<p>□ ラーニング・ポートフォリオの導入意義と授業改善  <span style="float: right;">帝京大学 土持ゲーリー法一</span></p> <p>1. ラーニング・ポートフォリオとは何か（3つの要素）            (1) リフレクション（省察）            (2) ドキュメンテーション（証拠資料）            (3) コラボレーション（グループ学習とメンターリング）</p> <p>2. ラーニング・ポートフォリオの成績評価への利用            (1) 広範な測定範囲            (2) 多様な評価を可能にする            (3) 中教審「学士力」との関係</p> <p>3. 「学士力」を育てる授業実践の試み            (1) 教室内授業 ～ 能動的授業シラバス            (2) 教室外学習 ～ 指定図書を活用した能動的学習            (3) ラーニング・ポートフォリオ ～ コンセプトマップを活用したポートフォリオ</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
12:00 ～ 13:00	<p>□ [国際基督教大]「ICUフォリオ」の導入と実践            ～学びのプロセスを学生が主体的にデザインする～  <span style="float: right;">国際基督教大学 日比谷 潤子</span></p> <p>1. 教養大学における「主体的学修」の啓発            (1) リベラルアーツ学園として            (2) 学生が自身の学びをデザインする</p> <p>2. ICUフォリオの導入            (1) 特色GP事業としてスタート            (2) アカデミックプランニング            (3) ICUフォリオの概要            (4) 導入プロセス、その軌跡</p> <p>3. システムを用いたICUフォリオの運用            (1) システムの概要            (2) 学生のポートフォリオ作成方法            (3) 教員からのレスポンスと蓄積            (4) 4年間の蓄積と学生によって可視化されるアウトカム</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 ～ 16:00	<p>□ &lt;ワークショップ&gt;学生視点でのラーニング・ポートフォリオ作成の実践  <span style="float: right;">帝京大学 土持ゲーリー法一</span></p> <p>1. 作成プロセスとポイント ～学習プロセスの「振り返り」と「学び」の深化</p> <p>2. 実践：ラーニング・ポートフォリオの構築とルーブリックの作成</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
パ ネ ル 討 論	
16:10 ～ 16:50	<p>□ 授業への導入シナリオ～組織的導入とカリキュラムの実際            ～参加大学の現状を踏まえて／組織的導入実現への提言～</p> <p>○パネリスト  <b>土持ゲーリー法一</b> 氏 / 帝京大学 総合教育センター 教授  <b>日比谷 潤子</b> 氏 / 国際基督教大学 学務副学長、教養学部教授</p> <p>○司会  <b>青野 友太郎</b> / 地域科学研究会 高等教育情報センター 代表</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>